

富川小学校開校150周年

富川小学校は、明治5年に文部省が「学制」を公布した翌年の明治6年に佐瑠太（現在の日高町）に佐瑠太教育所として創立しました。

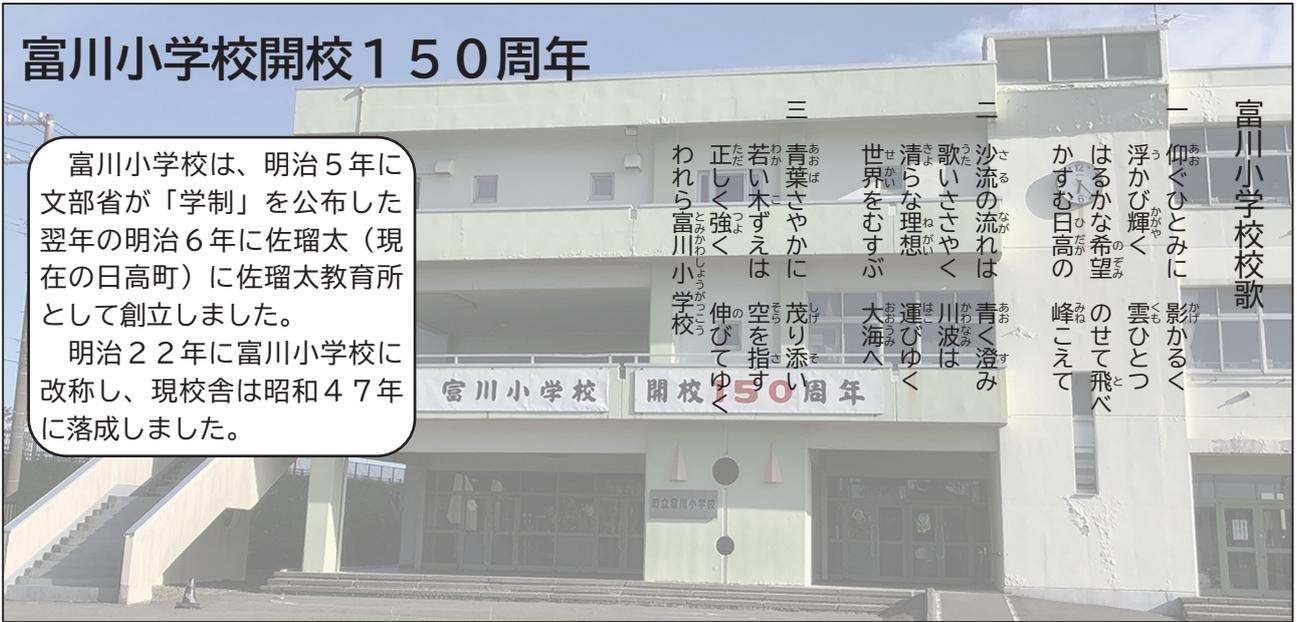
明治22年に富川小学校に改称し、現校舎は昭和47年に落成しました。

富川小学校校歌

一 仰ぐひとみに 影かるく
 浮かび輝く 雲ひとつ
 はるかな希望のせて飛べ
 かすむ日高の 峰こえて

二 沙流の流れは 青く澄み
 歌いささやく 川波は
 清らかな理想 運びゆく
 世界をむすぶ 大海へ

三 青葉さやかに 茂り添い
 若木すえは 空を指す
 正しく強く 伸びゆく
 われら富川小学校



9月15日、富川小学校開校150周年記念式典が同校体育館で行われ、4～6年生児童と保護者、来賓ら約200名が出席し、1～3年生児童は教室からリモートで参加しました。

児童による発表として、5年生の「この地球のどこかで」、6年生の「YUME日和」の合唱があり、また、札幌を中心に活躍している演奏楽団「アンサンブルグループ奏楽(そら)」のオーボエ、ヴァイオリン、ピアノによる生演奏が披露されました。



アンサンブルグループ奏楽による演奏



5年生による合唱



6年生による合唱



生徒からの質問に答える高木さんと渡部さん

午後からは、門別総合町民センターにおいて、戦場カメラマンの渡部陽一さんと元スピードスケート女子日本代表でオリンピック金メダリストの高木菜那さんの記念講演が行われました。

2人とも、「なにごとにも挑戦することが大事で、挑戦しないと失敗も成功もしない、なんでもいいから自分のやりたいと思うことをやってみよう。」と子どもたちに伝えました。



オータムコンサート2023

9月3日、ひだかdeコンサート(山下敏洋会長)主催による「オータムコンサート2023～秋色を奏でるマリンバ～」が門別総合町民センターで開催され、約150名の方が来場しました。

マリンバ奏者沓野勢津子さん、ピアノ伴奏田島ゆみさんによる、秋を感じさせる日本の唱歌と本格的なクラシックから始まり、後半は「シネマ&ポップス」として「見上げてごらん夜の星を」、「また君に恋してる」など、誰もが耳なじみのある楽曲を演奏されました。



マリンバ、ピアノ演奏をする沓野さんと田島さん



楽しそうに収穫体験する様子

「食を調べる」～ピーマン学習

9月6日、厚賀小学校3年生6名が、地元の食を調べるために、日高農業改良普及センター日高西部支所職員の指導のもと授業を行いました。

その後、佐藤正人さん(美原)のほ場を見学し、農家の仕事やピーマン作りの工夫や苦労について学習しました。

実際にピーマンの収穫体験をした児童たちは、「自分で収穫したピーマンを食べるのが楽しみ」と語っており、自分で収穫したピーマンを袋に入れて家庭に持ち帰りました。

富高生インターンシップ

9月21日、22日の2日間、富川高校2年生を対象にインターンシップが行われ、役場には3名の生徒が訪れました。

広報誌の作成がメインの内容となり、自分たちで素材となる写真を撮りに行き、記事を作成しました。

デザインや文章を考えるのに悩みながらも、3人で意見を出し合い完成させることができました。

実際に3名が作成した記事は、2ページ、3ページ目をご覧ください。



記事完成後の様子



収穫したイモを手に集合写真

もんべつ児童館、イモの収穫体験

9月27日、門別ふれあいセンター裏の菜園において、もんべつ児童館に通う1年生12名が、秋の恒例行事となった収穫体験を行いました。

昨年のニンジンに続き、今年はイモの収穫を行い、手際よく掘り出していました。

大きく育ったイモの収穫には苦戦する姿もみられましたが楽しみながら収穫しました。